

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02580 歴史博物館等施設管理事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	009	歴史博物館等施設管理事業			
事業期間	平成 2 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター施設管理事業 ・歴史博物館運営事業 ・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター運営事業				

【事業分析】

対象	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園の利用者が
目的	歴史や美術に親しみ、常に快適に利用できるようになります。
手段	博物館協議会及び市民ギャラリー運営委員会を開催し運営について意見をいただき、指定管理により施設管理や集客イベント等を行います。
事務内容	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園の管理運営、博物館協議会及び市民ギャラリー運営委員会開催、施設修繕、指定管理者更新

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		151,990	196,715	579,160
事業費	事業費	144,730	190,015	572,160
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	300,000
	一般財源	144,730	190,015	272,160
	人件費計	7,260	6,700	7,000
	正規（人）	1.10	1.00	1.00
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会 3 回・ギャラリー運営委員会 2 回開催、施設修繕、指定管理者更新	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会 3 回・ギャラリー運営委員会 2 回開催、施設修繕	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会 3 回・ギャラリー運営委員会 2 回開催、施設修繕

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02580 歴史博物館等施設管理事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
歴史博物館入館者数	人	77,015.00 83,048.00	0.00 85,824.00	89,000.00 0.00
市民ギャラリー入館者数	人	149,500.00 133,818.00	0.00 118,023.00	120,000.00 0.00
市民ギャラリー展示室利用率	%	86.00 82.20	0.00 64.80	75.00 0.00
埋蔵文化財センター入館者数	人	13,400.00 15,079.00	0.00 11,278.00	12,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市域の歴史を後世に伝える文化財の保全が必要です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市域の歴史や文化を紹介し、芸術活動発表の場となっています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	ギャラリー部屋利用率が目標を下回りました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	指定管理者と協働で施設管理を行っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	2
理由	施設・設備の老朽化が進んできています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	歴史博物館の入館者数は目標値を上回りましたが、市民ギャラリーの入館者数・展示室利用率が目標を下回りました。ギャラリーについては、部屋の利用団体数は増加しているので、小規模の展示が増加したことが要因と考えられます。指定管理者と協働で新たな活用方法についてPRを行っていきます。また、歴史博物館・市民ギャラリーの施設・設備の老朽化が問題となってきています。市民ギャラリーは令和7年度より改修を実施し、より利用しやすい施設へと整備をしていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02581 丈山苑管理事務

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	003	7 観光・交流			
施策の取組	003	観光資源の充実			
事務事業	007	丈山苑管理事務			
事業期間	平成 8年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	丈山苑の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	丈山苑の利用者が
目的	風雅を楽しむ詩作に遊んだ石川丈山のところを四季折々の草木を通じて感じられ、快適に施設を利用できるようになります。
手段	施設管理やイベントの実施を指定管理により行います。
事務内容	指定管理事務、指定管理者更新、丈山苑修繕計画策定業務、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	45,184	50,748	146,227
事業費	40,564	44,048	141,327
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	40,564	44,048	141,327
人件費計	4,620	6,700	4,900
正規（人）	0.70	1.00	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	指定管理者連絡調整会議（毎月）、建物等修繕、樹木剪定委託、指定管理者更新、丈山苑修繕計画策定業務委託	指定管理者連絡調整会議（毎月）、建物等修繕、樹木剪定委託、丈山苑修繕設計委託、四阿茅葺修繕	指定管理者連絡調整会議（毎月）、建物等修繕、樹木剪定委託、丈山苑修繕設計委託、修繕工事

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02581 丈山苑管理事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
丈山苑入苑者数	人	21,700.00 34,173.00	0.00 28,037.00	28,200.00 0.00
苦情件数	件	0.00 5.00	0.00 4.00	0.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	石川丈山を顕彰する施設は当該施設のみです。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市の観光拠点の一つになっており、来苑者の満足度は高いです。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	目標を下回っており、今後の事業の見直しが必要です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	指定管理者制度を導入し、管理を委託しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体の類似施設より安価で呈茶事業を行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	来苑者数は目標を下回りましたが、指定管理者が変更になり新しい取り組みを試行しているので今後の運営を注視していきます。令和 7 年度は、12 月から年度末まで休苑し、施設の改修を行います。令和 8 年度の開苑30周年に向け、市民が建物や庭園を通して市域の偉人石川丈山について知ることができる施設として美観を維持するとともに様々な事業を行っていきます。また、観光拠点として、市内外の来苑者の集客にも力を入れていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02582 歴史博物館展示事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	010	歴史博物館展示事業			
事業期間	平成 3年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 歴史博物館常設展事業 ・ 歴史博物館特別・企画展事業 ・ 企画展調査事業 ・ 次年度対策事業				

【事業分析】

対象	歴史や文化に関心がある人が
目的	展覧会を観覧することにより安城市や地域の歴史文化に対して理解を深められるようになります。
手段	特別展企画展を年 5 回開催し、記念講演や講座を実施します。また、調査の成果を常設展示に反映させます。
事務内容	特別展企画展・記念講演会開催、常設展管理・展示替え・リニューアル検討

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		42,421	39,485	44,198
事業費	事業費	28,561	26,085	29,498
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	282	1,719	1,700
	一般財源	28,279	24,366	27,798
	人件費計	13,860	13,400	14,700
	正規（人）	2.10	2.00	2.10
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	特別展 3 回、企画展 2 回、記念講演会、次年度以降展覧会調査	特別展 3 回、企画展 2 回、記念講演会、次年度以降展覧会調査	特別展 3 回、企画展 2 回、記念講演会、次年度以降展覧会調査

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02582 歴史博物館展示事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
特別展企画展観覧者数	人	26,500.00 35,264.00	0.00 27,745.00	26,800.00 0.00
常設展観覧者数	人	14,000.00 20,043.00	0.00 13,483.00	140,000.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市域の歴史・文化を紹介する展示は市が行うものです。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市域に関わる展示を年 4 回開催し、来館者の満足度も高いです。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	展示観覧者数は目標を上回っています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	指定管理者制度を導入し、PRや関連事業を実施しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	市域の歴史に関する展示を中心に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	夏の特別展は、指定管理者のPRや関連イベントも好評で目標を大きく上回ることができました。また、三河地震など地域の歴史を紹介する展示を今後も引き続き実施していきます。今後もさらに多くの市民に来館していただき、地域の歴史を学ぶ場となるように展示内容の充実に努めていきます。常設展示室・企画展示室ともに開館から34年を経過し、設備の老朽化が目立つようになってきているため、計画的に修繕を実施する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02583 歴史博物館講座等開催事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	011	歴史博物館講座等開催事業			
事業期間	平成 3年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 歴史博物館体験学習等開催事業 ・ 歴史博物館見学学習・実習等受け入れ事業				

【事業分析】

対象	歴史に関心のある人、市内小中学生、学生が
目的	地域の歴史文化を学習し理解できるようになります。
手段	連続講座・松平シンポジウムを開催し、見学学習・博物館実習をはじめ総合学習の一環として他の学年や市外小中学生、高校生のほか中学生の職場体験を受け入れ、見学学習をサポートするボランティアを育成します。
事務内容	入門講座開催、松平シンポジウム開催、見学学習・職場体験受入、博物館実習実施、博物館ボランティア育成

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	10,783	8,914	8,487
事業費	883	874	787
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	70	108	90
一般財源	813	766	697
人件費計	9,900	8,040	7,700
正規（人）	1.50	1.20	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	入門講座（1テーマ） 、連続講座（2テーマ） 、見学学習、体験学習、松平シンポジウム 、博物館実習、博物館ボランティア例会・養成	入門講座（1テーマ） 、連続講座（2テーマ） 、見学学習、体験学習、松平シンポジウム 、博物館実習、博物館ボランティア例会・養成	入門講座（1テーマ） 、連続講座（2テーマ） 、見学学習、体験学習、松平講演会、博物館実習、博物館ボランティア例会・養成

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02583 歴史博物館講座等開催事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
記念講演会等講座等聴講率	%	90.00 69.00	0.00 52.00	75.00 0.00
小中学生来館者数	人	3,600.00 3,070.00	0.00 3,217.00	3,600.00 0.00
博物館ボランティア参加者数	人	40.00 195.00	0.00 2,432.00	2,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市域の歴史に関する講座を中心に実施します。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	定員を超える講座もあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	定員を下回る講座もあり、内容やPRの検討が必要です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	講座に応じた申込方法を実施しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	松平シンポジウムなど専門性の高い講師の講座も実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	小中学校の見学学習は、市内の小学校6年生と中学2年生に市域の歴史について学ぶ機会となっています。ただ、令和6年度以降バスの手配が困難になってきたため、日程の調整を早めるなど工夫を行いました。令和6年度から博物館ボランティアの運営及び育成を指定管理と協働で行うことになったためボランティアの参加者や活動機会が増えてきています。講座については、内容に応じて事前申込と当日受付に分け、より聴講しやすくなるような工夫を行いました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02584 歴史博物館運営事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	012	歴史博物館運営事業			
事業期間	平成 3年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 歴史博物館情報提供事業 ・ 歴史博物館収蔵品購入事業				

【事業分析】

対象	地域の歴史文化に関心のある人が
目的	調査研究ができ、貴重な歴史資料を適切な環境で保存することで、実物資料を見ることができるようになります。 。
手段	展示室・収蔵庫の環境管理及び資料くん蒸などにより収蔵資料の保存をはかります。
事務内容	文献資料室運営、展示室環境管理、収蔵品の購入、収蔵資料修繕、くん蒸

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	18,351	20,879	27,273
事業費	14,391	15,519	22,373
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,391	15,519	22,373
人件費計	3,960	5,360	4,900
正規（人）	0.60	0.80	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（6 回）、収蔵庫・展示室環境保全業務（5 回）・真菌検査（2 回）、研修参加、文献資料室運営管理	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（6 回）、収蔵庫・展示室環境保全業務（5 回）・真菌検査（2 回）、研修参加、文献資料室運営管理	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（4 回）、収蔵庫・展示室環境保全業務（5 回）・害虫検査（8 回）・真菌検査（4 回）、研修参加、文献資料室運営管理

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

10 頁

令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02584 歴史博物館運営事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
博物館収蔵資料点数	点	112,000.00 113,212.00	0.00 117,917.00	118,200.00 0.00
文献資料室収蔵資料点数	点	64,000.00 64,192.00	0.00 63,827.00	66,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由 必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由 有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由 効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由 公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	収蔵資料による企画展示を開催しています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	博物館を継続して運営していくためには、市域の様々な歴史資料を収集し、適切な環境で保存していくことが必要です。指定管理者とも協働で、適切な温湿度の管理や清掃を実施し、さらに文化財の専門業者による展示室の清掃や資料のくん蒸などを行っています。令和 6 年度末でこれまでくん蒸で使用していた薬剤が製造停止になったため、令和 7 年度以降のくん蒸の実施方法について検討を行いました。職員が資料保存に関する研修に参加し業務に活かしています。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02585 史料整理活用事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	013	史料整理活用事業			
事業期間	平成20年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	安城の歴史や文化に興味のある人が
目的	市内の文献資料を通してより深く関心をもてるようになります。
手段	市史編さん事業により刊行した新編安城市史等の幅広い活用を促すとともに、執筆の根拠となった古文書等の資料、マイクロフィルム、複製コピーなどの貴重な歴史的財産を整理・保存・公開します。また、未だ旧家・町内会・寺社等には未公開・未整理の貴重な歴史資料が多数存在し、それらの調査・整理・保存・公開を行います。
事務内容	収蔵・寄託資料管理、収蔵等資料整理、資料調査、文書史料集成刊行

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	20,945	24,482	33,710
事業費	14,345	17,782	23,910
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,345	17,782	23,910
人件費計	6,600	6,700	9,800
正規（人）	1.00	1.00	1.40
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成刊行	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成刊行	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成刊行	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成刊行
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

12 頁
令和 7年11月19日
15時23分15秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02585 史料整理活用事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
博物館収蔵資料点数	点	112,000.00 113,212.00	0.00 117,917.00	118,200.00 0.00
資料整理点数	点	3,000.00 4,330.00	0.00 4,765.00	3,200.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市域の歴史資料を調査・収集・保存する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
理由	市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
理由	整理した資料を展示に利用し、市域の歴史の普及を図ります。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
理由	目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
理由	新規採用職員に研修を行い、事業が継続できるようにしています。		
理由	環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	毎年順調に整理を収集・整理できています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	市域の歴史に関する収蔵資料、寄贈資料等の整理を行い目録を作成するなど、展示や資料調査などで活用できるようにしています。開館以来市民から寄贈いただいた資料などを中心に整理を実施し、市民が市域の歴史を学ぶことができるようにしています。また、新規採用職員にも研修を行い、今後も継続して整理が行えるようにしています。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02586 文化財啓発事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	014	文化財啓発事業			
事業期間	昭和36年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 9 年度からは、安祥文化のさとまつりが指定管理者の事業になりました。 令和 4 年度は、大河ドラマ「どうする家康」にあわせてガイドボランティアを養成し、高校生と協働で史跡解説 Y o u t u b e 動画を作りました。また、市制施行 7 0 周年記念として、西三河棒の手交流大会を開催しました。 令和 6 年度は高校生 Y o u t u b e 事業を見直し、次年度の安城市ジュニアキュレーター養成講座、史跡指定記念シンポジウムなどを企画しました。				

【事業分析】

対象	将来にわたって文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	地域の歴史を学びながら、郷土愛（シビック・プライド）を醸成することができます。また、歴史・文化に関わる事業を通じて人と人とが繋がり、歴史を核としたコミュニティが形成されます。また、市外からの観光客を通じて、地元の歴史・文化の大切さを気づくこととなります。
手段	調査研究成果に基づく、各種講座の実施やパンフレットの作成と配布、埋蔵文化財センターでの展示、ボランティア団体との協働や育成などを行うことにより、市民が安城の歴史の価値を理解できるようにします。
事務内容	夏休み子ども考古学講座やおおぞら歴史教室などの各種講座（出前講座を含む）の企画と実施、展示の企画と実施およびパンフレットの作成、歴史の散歩道整備、各ボランティア団体との育成や協働、地域のイベントや小中学校総合学習への協力などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		11,890	5,901	7,128
事業費	事業費	3,310	2,551	3,628
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	31
	一般財源	3,310	2,551	3,597
	人件費計	8,580	3,350	3,500
	正規（人）	1.30	0.50	0.50
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	各種出前講座 土器づくり教室 夏休み考古学講座 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道（10種） どうする家康ボラン ティアガイド支援 高校生YouTube制作	各種出前講座 土器づくり教室 夏休み考古学講座 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道（10種） 高校生YouTube制作 ボランティア協働事業	各種出前講座 土器づくり教室 夏休み考古学講座 考古学講座 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道（10種） ジュニアキュレーター ボランティア協働事業

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
15時24分04秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02586 文化財啓発事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
文化財関連事業参加者数	人	22,000.00 25,003.00	0.00 21,487.00	22,500.00 0.00
出前授業などの講座数	回	12.00 22.00	0.00 16.00	14.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市独自の歴史・文化を発信する事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	学校や町内会から出前授業などの開催に関する要望があります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	前年度比では参加者は減少したものの、目標値を上回っています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事業手法を検討し、次年度に立案した新規事業の成果を確認します		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	子どもから大人まで幅広く参加しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	埋蔵文化財センターの入館者減により、文化財関連事業参加者数自体も減少しましたが、夏休み子ども考古学講座などの各種取り組みは過去最多の参加者を得ました。また、小中学校や町内会への出前授業などの講座は前年度比では減少していますが、地域で現地説明会を開催することで効果は継続できています。令和 6 年度に高校生 Y o u t u b e 事業に代わる若年層向けの講座として、ジュニアキュレーター養成講座を新たに立案しました。また、本證寺史跡指定 1 0 周年記念シンポジウムなども新たに企画したことで、歴史文化に親しむ市民の満足度を高めるとともに、事業に関わる新たな市民の開拓に取り組んでいます。文化財啓発事業としては多くの講座・イベントに取り組んでいる一方で、それらの関連などの整理が不十分です。今年度は、各種啓発事業の成果を分析し、その取り組みを精査することで、働きかけの少ない年代や内容を把握して次年度に繋げていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02587 文化財保護事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	015	文化財保護事業			
事業期間	昭和39年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・文化財保護事業（史跡整備部分を分割） ・文化財保存事業（統合） ・文化財調査事業（統合） ・郷土史出版奨励事業（統合）				

【事業分析】

対象	将来にわたって文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	文化財を保存し、整備・活用することによって、その価値を享受できるようになります。このように市民が文化財の価値を「共有」することで、地域への誇りが芽生え、関心が高まり、連帯感が生まれます。
手段	事業内容は総務、調査、保存の 3 つに分けられます。総務では、文化財指定やそのための文化財保護委員会運営、史跡説明看板のリニューアルなどがあります。調査では、建造物や美術工芸品の調査（大学への委託を含む）を行っています。保存では、有形・無形民俗文化財の所有者・関係者、郷土史に関する書籍等の出版される市民への補助金を交付しています。
事務内容	文化財指定や現状変更に関する事務、文化財保護委員会の運営事務、史跡説明看板のリニューアルや天然記念物害虫駆除の委託業務のための事務、調査等を委託する場合の事務、様々な補助金交付事務があります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		18,005	22,028	22,896
事業費	事業費	11,405	12,648	13,096
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,405	12,648	13,096
	人件費計	6,600	9,380	9,800
	正規（人）	1.00	1.40	1.40
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付 東海道松並木補植	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付 東海道松並木補植	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付 東海道松並木補植

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月19日
15時24分04秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02587 文化財保護事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
指定および登録文化財の件数	件	243.00 243.00	0.00 244.00	244.00 0.00
歴史・文化に愛着や誇りを感じる人の割合（R 5、R 7）	%	46.00 43.50	0.00 0.00	44.50 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市独自の文化財保護制度で市民等への支援を行っています。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	社会情勢の変化により市の役割が高まっています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	指定件数を維持し、新規の登録有形文化財建造物がありました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	管理調査の周期をシステム化したことで効率化を図りました。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	文化財所有者・関係者に適切な支援が実施できています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度は東海道のマツ並木について沿線の小学6年生の記念植樹を9本実施し、文化財保護の意識の醸成に取り組みました。また、本證寺所蔵絵伝をはじめとする指定文化財などについても、保護に取り組む所有者・関係者に適切な支援を行いました。 昨今の社会情勢の変化により、文化財の所有者・関係者の方々が貴重な有形・無形の文化財を維持・継続することが難しくなっています。そのため、市の関わる比重が高まり、それに応じて要望も多くなっています。そうした方々に寄り添いながらも、公平性のある文化財保護行政を継続して実施していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁

令和 7年11月19日
15時24分04秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02588 史跡整備事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	016	史跡整備事業			
事業期間	昭和36年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から分離、独立させています。 ・文化財保護事業				

【事業分析】

対象	史跡の価値を共有すべき全ての市民が、
目的	史跡を活用できるように整備することで、その価値を理解し、誇りが生まれることを目指します。
手段	まず、史跡を開発から守り保存するために公有化（用地買収）を行います。次に、その史跡が価値を損なうことがないように保存し、その価値を見てわかるよう整備を行い、魅力的な活用を図ります。
事務内容	土地公有化については用地買収事務、整備については計画立案とともに有識者からの意見聴取や具体的な整備工事の実施があります。また、ワークショップの実施やイベントの開催（参加）などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	140,215	127,707	194,111
事業費	122,395	104,927	170,311
国庫支出金	55,564	51,682	83,263
県支出金	0	0	0
地方債	0	43,779	70,000
その他	0	0	0
一般財源	66,831	9,466	17,048
人件費計	17,820	22,780	23,800
正規（人）	2.70	3.40	3.40
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	本證寺境内土地公有化 本證寺ワークショップ 実施（直営） 史跡本證寺境内整備実 施設計策定 史跡本證寺境内整備工 事	本證寺境内土地公有化 本證寺ワークショップ 実施（直営） 史跡本證寺境内整備実 施設計策定 史跡本證寺境内整備工 事	本證寺ワークショップ 実施（直営） 史跡本證寺境内整備実 施設計策定 史跡本證寺境内整備工 事 旧神谷家住宅主屋実施 設計

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月19日
15時24分04秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02588 史跡整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
土地公有化面積の計画達成件数	件	18.00 17.00	0.00 18.00	0.00 0.00
ワークショップの参加者数	人	144.00 169.00	0.00 148.00	150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市独自の史跡の保護と活用に関する事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	アンケートで歴史・文化に親しむ割合が増えています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	公有地化は計画通り完了、史跡整備事業は進捗が遅れ気味です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	国庫補助金等を得ることで事業費を削減する見込みです。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	市の規模にふさわしい史跡整備に取り組んでいます。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	本證寺境内については令和 6 年度に予定していた計画地のすべての公有地化を実現しました。また、二子古墳・姫小川古墳などの史跡についても定期的な草刈りを行うことで、見学者が来訪しやすい環境整備に取り組んでいます。また、史跡に関わるボランティア団体（本證寺の未来寺子屋）に関わる人材を新たに募集することで、市民と市が史跡を保存し活用するための下地づくりをしています。 一方で、史跡整備については令和 6 年度に予定していた一部の工事が入札不調により令和 7 年度に繰り越すことになり、令和 7 年度以降の進捗にも影響を及ぼす可能性があります。庁内の関係部署と連携することで、適切な史跡整備事業を進めていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁

令和 7年11月19日
15時24分04秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02589 埋蔵文化財調査事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	017	埋蔵文化財調査事業			
事業期間	昭和26年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	文化財保護法、安城市埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例				
備考	主に、住宅開発に伴い破壊される遺跡の事前調査（発掘調査による記録保存）に関する事業。				

【事業分析】

対象	将来にわたって埋蔵文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	遺跡が保存されたり、発掘調査によってその価値を知ること、地域への関心と誇りを得ることができます。文化財保護法により、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を開発（土木工事）する場合は、事前調査が必要です。
手段	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を開発（土木工事）する場合、提出される申請書の受け付け、指導、処理を行います。可能な限り開発による破壊を回避する指導を行います。困難な場合は事前の試掘調査と発掘調査（記録保存）をしています。調査後は、調査成果を整理、研究し、報告書を刊行するとともに、出土遺物は収蔵保存を行います。そして、その発掘成果を市民にフィードバックしています。
事務内容	埋蔵文化財包蔵地発掘の申請書受け付け、指導、処理、発掘調査（試掘・本発掘および立会い調査）、出土遺物の整理、調査研究、発掘報告書の刊行などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	89,716	113,341	111,320
事業費	69,916	95,251	92,420
国庫支出金	15,303	15,971	6,027
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	80	137	0
一般財源	54,533	79,143	86,393
人件費計	19,800	18,090	18,900
正規（人）	3.00	2.70	2.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 桜林小学校（中狭間遺跡）発掘調査	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 塚越古墳・獅子塚古墳の確認調査	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 獅子塚古墳の確認調査

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 7年11月19日
15時24分04秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02589 埋蔵文化財調査事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
住宅着工前に発掘調査を終えることのできなかった件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市独自の歴史を明らかにする事業です	
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	埋蔵文化財のある場所で開発する個人・事業者には必須です	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
	理由	適切な対応で開発の遅延は発生させていません	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	委託内容を見直し事業費の削減に取り組んでいます	
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	公平な埋蔵文化財行政を行っています	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度は本證寺史跡整備に関連する確認調査を長期間で実施したほか、桜井古墳群を構成する塚越古墳・獅子塚古墳の確認調査を実施して基礎情報の蓄積に取り組んできました。 課題は埋蔵文化財のある場所で開発する件数は年度ごとに増減があり、不定期に発生する発掘・試掘確認調査への対応に苦慮しているところです。適切な埋蔵文化財行政を実施するためにも埋蔵文化財調査ができる職員の確保が急務です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02590 文化活動団体支援事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	029	文化活動団体支援事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市補助金等の予算執行に関する規則 安城文化協会補助金交付要綱				
備考					

【事業分析】

対象	文化協会が
目的	財政的基盤を充実させ、加盟する団体、個人の活動も活性化し、芸術文化の交流が深まります。
手段	文化活動団体を支援し、広く市民の文化活動を活性化させ、生涯にわたり、健康に芸術や文化に取り組める基盤を作ります。近年文化団体の減少傾向がありますが、安城の文化を支える文化団体の灯を絶やさぬように方向性を模索しながら助成を実施します。
事務内容	助成金交付事務（職員人件費の部分があるため前金払いで、年間を2回に分けて支払います。） 青少年文化芸術活動団体等への激励金交付事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		4,460	4,700	5,200
事業費		1,820	2,020	2,400
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,820	2,020	2,400
人件費計		2,640	2,680	2,800
	正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	・文化協会の育成 ・今後の文化協会につ いての検討 ・文協祭の実施 ・市民芸術祭委託事業 ・文協選抜展、こあ展 ・青少年文化芸術活動 団体等の支援	・文化協会の育成 ・今後の文化協会につ いての検討 ・文協祭の実施 ・市民芸術祭委託事業 ・文協選抜展、こあ展 ・青少年文化芸術活動 団体等の支援	・文化協会の育成 ・今後の文化協会につ いての検討 ・文協祭の実施 ・市民芸術祭委託事業 ・文協選抜展、こあ展 ・青少年文化芸術活動 団体等の支援 ・創立80周年に向けて の事業計画立案

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02590 文化活動団体支援事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
文化協会加盟団体数	団体	71.00 72.00	0.00 71.00	71.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市民による芸術団体活動をまとめる文化協会への補助金支援です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	安城市の文化を支える団体で、広く市民の参加があります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	団体数が微増したが会員の高齢化により減少が懸念されています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	芸術祭の3部門を文化協会に委託し、参加者増に貢献しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	近隣市の文化協会と比較し、適正と考えられます。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	文化協会に市民芸術祭を委託し10年目になります。「市民文芸まつり」は年々応募数が増えています。文化協会所属の俳句、短歌の講師を小中学校に派遣をする活動により、小中学生応募数が増加しています。また、高校生の応募も増えています。「市民芸能まつり」も参加団体が増加傾向にあり、観客も伸びています。「文芸・技芸・趣味の集い」は参加型の体験コーナーを設け、市民の方に広く楽しんでいただけるよう工夫のある行事となっています。今後はSNS等による発信機会を増やし、さらに参加者を増やし、身近に文化活動のある街づくりをしていきます。「安城市青少年文化芸術全国大会等激励金」については、事業を継続することで、青少年が文化活動に対する支援を継続していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02591 市民ギャラリー美術品購入事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	028	市民ギャラリー美術品購入事業			
事業期間	昭和57年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市附属機関の設置に関する条例（安城市条例第34号）第5条				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	地元に縁の深い作家の貴重な作品を鑑賞できます。
手段	安城市が所有するにふさわしい貴重な美術作品を調査研究し購入を進めます。購入した作品は、展示会を実施し、市民の皆さまにご鑑賞いただきます。令和7年度までに251点の美術作品を購入しました。
事務内容	地元安城ゆかりの作家を中心に調査、安城市民ギャラリー美術品等収蔵委員会にて検討、作品確認（内覧）

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	4,176	3,741	5,765
事業費	2,856	2,401	4,365
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,856	2,401	4,365
人件費計	1,320	1,340	1,400
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02591 市民ギャラリー美術品購入事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
展示作品点数	点	39.00	0.00	39.00
		60.00	40.00	0.00
観覧者数	人	4,300.00	0.00	4,300.00
		5,404.00	5,535.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由		地元ゆかり作家を熟知した市が作品収集・展示する必要があります		
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由		観覧者のアンケートからも高い評価を得られています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由		購入作品を十分に活用した企画展示をできています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由		多くの作品が市民の目に触れられるよう機会を創出しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由		他市とも劣らず収蔵品を利用できています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 7 年度も寄贈作品や購入作品を調査しながら、安城市の収蔵作品として相応しい作品であるかを検討し、購入を進めていきます。また、収蔵作品は広く市民の皆様に鑑賞いただけるように企画展示を通して利用していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

5 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02592 芸術鑑賞会事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	027	芸術鑑賞会事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考	令和 5 年度から開始した部活動地域展開に伴い、安城市吹奏楽フェスティバルを廃止しています。 平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。 ・ 市民芸術鑑賞会事業				

【事業分析】

対象	芸術文化に興味をもつ市民が
目的	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることができます。
手段	古典芸能や伝統芸能、クラシック音楽などの鑑賞会を実施します。質の高い芸能分野の舞台公演を身近に鑑賞いただき、伝統芸能・芸術のすばらしさを感じていただきます。
事務内容	前回開催のアンケートを参考に事業内容の検討、出演団体交渉、契約事務、広報PR、チラシ作成、チケット発売、開催実施、アンケート集計、実施報告

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	10,134	13,264	12,351
事業費	2,874	5,894	4,651
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	130	0
地方債	0	0	0
その他	897	388	750
一般財源	1,977	5,376	3,901
人件費計	7,260	7,370	7,700
正規（人）	1.10	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	5 年度：「栗コーダーカルテット」ファミリーコンサート及び市内小中学校アウトリーチ事業を実施します。	6 年度：愛知室内オーケストラ「安城市わくわくクラシック」及び市内小中学校アウトリーチを実施。また、部活動地域展開をふまえ、公民館アウトリーチを開催。地元アーティストの演奏とワークショップを実施した。	7 年度：「人間国宝野村峰山と竹の新撰組尺八 LIVE」を実施。市内小中学校アウトリーチも実施していきます。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02592 芸術鑑賞会事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
チケット販売枚数	枚	644.00 632.00	0.00 169.00	350.00 0.00
アンケートによる満足度	%	80.00 97.90	0.00 98.00	80.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	アウトリーチでは地元アーティストと小中学生の繋がりを育みます		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	アンケートでは高い満足度を得ています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	入場者が目標値を下回ったものの良質な演奏会を提供しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	オンライン券売を行い、利便性を高めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	目的に合わせて工夫を凝らして実施し、毎年満足いただけてます。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 6 年度は、へきしんギャラクシープラザで愛知室内オーケストラ「安城市わくわくクラシック」を開催しました。券売数は伸び悩みましたが、9 8 % のお客様から「非常に満足」「満足」というお声をいただくことができました。また小中学生のこどもたちにもクラシックを親しんでいただきたいという考えから親しみやすい選曲を行ったり、市内中学校の吹奏楽部員を無料招待するなどの運営の工夫をしました。 アウトリーチにおいては、9 校の生徒たちに、地元アーティストやプロ奏者による演奏を間近に届けました。さらに、部活動の地域展開に伴う学校を超えた鑑賞・演奏機会の確保のため、公民館アウトリーチを 3 館行い、地元アーティストとこどもたちの繋がりを育みました。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02593 文化芸術協働事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	026	文化芸術協働事業			
事業期間	昭和21年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	市民公募文化事業補助金交付要綱、市民公募文化事業美術部門補助金交付要綱				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・市民芸術祭事業 ・市民演劇祭事業 ・安美展事業 ・市民公募文化事業				

【事業分析】

対象	芸術分野、技芸・芸能に興味があり、自ら創作する、上演する、演技することを望む市民が
目的	自作品の発表や展示、自らの技芸の披露、団体で企画した演劇の公演等をする機会を得ることができます。
手段	作品発表・展示の場を設けたり、技芸や演劇を披露する公演の場所を提供することで、市民の文化水準の向上と、それらの作品や技芸、演劇を鑑賞する機会の充実を図ります。
事務内容	市民文芸まつり、市民芸能まつり、文芸・技芸・趣味の集いの 3 事業を安城文化協会に委託、安美展・市民演劇祭の企画・募集・展示及び公演実施、市民公募文化事業の企画・募集・審査と公演までの周知啓発の補助、中学生日曜教室（音楽）の開催、アートマネジメント講座の開催

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		23,510	22,914	28,977
事業費		10,310	9,514	14,977
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	174	0
	地方債	0	0	0
	その他	7	152	678
	一般財源	10,303	9,188	14,299
人件費計		13,200	13,400	14,000
	正規（人）	2.00	2.00	2.00
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	・市民芸術祭（安城文化協会委託）の開催 ・安美展の開催 ・市民演劇祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助 ・中学生日曜教室（音楽）の開催 ・アートマネジメント講座の開催	・市民芸術祭（安城文化協会委託）の開催 ・安美展の開催 ・市民演劇祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助 ・中学生日曜教室（音楽）の開催 ・アートマネジメント講座の開催	・市民芸術祭（安城文化協会委託）、安美展、市民演劇祭、中学生日曜教室（音楽）アートマネジメント講座、こども文化祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02593 文化芸術協働事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
市民芸術祭の出演および出展者数・観覧者数	人	20,000.00 26,606.00	0.00 29,251.00	20,000.00 0.00
市民演劇祭の参加団体数	団体	6.00 8.00	0.00 7.00	6.00 0.00
市民公募文化事業の公演件数	回	12.00 13.00	0.00 10.00	12.00 0.00
アートマネジメント講座への参加者数	人	10.00 18.00	0.00 15.00	10.00 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市民から公募して実施する事業が主体となっています。	
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	団体ごとの計画年次で市民公募文化事業の申請があります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	多くの事業で目標を達成しています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	事業ごとの関連性をもたせ、人材活用に取り組んでいます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他市と比較しても適正と考えられます。	

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	過去に市民公募文化事業美術部門に申し込んだ団体が、市民ギャラリーの個人利用を行うなど補助金に頼らない展示にも繋がっています。市民演劇祭においてはアートマネジメント講座受講生によるアナウンスなど、他事業と連携を図るとともに、実行委員会企画の幕間イベントを新たに開催することができました。市民芸術祭は市民に浸透しており目標を上回る出演及び参加がありました。中学生日曜教室（音楽）では、音楽団体の協力を得て講座を開催しています。本事業では市民とともに、安城市の芸術を盛り上げるべく協働・連携を行い、文化振興に貢献することができています。

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

9 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02594 市民ギャラリー講座事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	025	市民ギャラリー講座事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	美術創作活動に意欲のある市民が
目的	質の高い創作活動の機会を得ながら学ぶことができます。
手段	多くの市民に美術に親しんでもらい制作意欲を高めていただき、生きがいを持って健康に暮らせ、将来の担い手となる感性豊かな人材を育てていく場を美術講座を通して提供します。
事務内容	計画（子ども向け、一般向け、親子向け）美術講座、講師選定、P R 事務、参加者案内、材料準備事務、開催実施事務、（作品展示）、アンケート集計、報告事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	13,800	14,555	15,036
事業費	1,920	2,495	2,436
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	67	0
地方債	0	0	0
その他	1,267	1,252	1,285
一般財源	653	1,176	1,151
人件費計	11,880	12,060	12,600
正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	美術講座の企画推進に関する業務（日程、講師選定など）。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 14講座 1,082人（延参加者数）	美術講座の企画推進に関する業務（日程、講師選定など）。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 16講座 1,075人（延参加者数）	美術講座の企画推進に関する業務（日程、講師選定など）。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 15講座実施予定

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

10 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02594 市民ギャラリー講座事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
参加者数	人	192.00 231.00	0.00 226.00	192.00 0.00
結果アンケート	%	89.00 96.00	0.00 97.00	89.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	専門的機材を導入し、環境が整っています。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	アンケートなどでも高い人気度を得ています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	参加者も順調に推移しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	再利用できるものは再利用し、コスト面に配慮しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	子どもから大人まで幅広く実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和5年度、6年度とともに受講者アンケートで非常に高い評価を得ています。 令和5年度に新規開設した中学生美術講座は、木炭デッサンや鑑賞方法など美術の基礎を学ぶ場を提供しました。 また、日本画講座の受講生10名が安美展に入選し、うち2名が受賞しました。 今後も、市民の多様なニーズに応じた講座内容の充実、創作活動の活性化、受講者間の交流促進、情報共有の機会提供を通じて、創造性豊かな地域文化の振興に寄与していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02595 市民ギャラリー企画展事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	024	市民ギャラリー企画展事業			
事業期間	平成16年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・市民ギャラリー郷土作家展事業 ・市民ギャラリーコレクション展事業				

【事業分析】

対象	文化芸術に関心のある市民が
目的	郷土の作家を中心とした美術作品を鑑賞する機会を得ることができます。
手段	年3回程度、市が所蔵する美術作品を中心に展示する企画展を開催します。郷土ゆかりの作家を取り扱う展覧会や市民ギャラリー収蔵品から選りすぐったテーマ展示のほか、他の美術館等の協力のもと、幅広い時代や地域の作品を紹介する展覧会を実施します。
事務内容	作家及び作品調査、企画立案、作品借用事務、PR事務、作品運搬委託事務、企画展示実施、アンケート集計、開催結果報告事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度		令和 6年度		令和 7年度	
	決算額		決算額		予算額	
トータルコスト	19,705		11,865		14,800	
事業費	9,805		1,815		4,300	
国庫支出金	0		0		0	
県支出金	0		0		0	
地方債	0		0		0	
その他	3,910		161		300	
一般財源	5,895		1,654		4,000	
人件費計	9,900		10,050		10,500	
正規（人）	1.50		1.50		1.50	
その他経費	0		0		0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	企画展「安美展第80回記念展」（13日間） 「美術で味わう市民ギャラリーレストラン」（10日間）、市民ギャラリー開館20周年記念特別展「大正イマジユイの世界」（27日間）	特別展「やきものの秘密 どうやってできる？この色・かたち」（27日間）、企画展「Flora 市民ギャラリーを彩る草と花」（10日間）、「丸山今朝三展～永遠なる自然との対峙～」（14日間）	特別展「絵画から見る日本デンマークの時代～愛知近代美術の表現者たち～」（32日間）、企画展「旅人のレンズ-風景画の世界-」（10日間）、「横山夕葉展 墨跡に込める心の響き」（14日間）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

12 頁

令和 7年11月19日
15時24分41秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02595 市民ギャラリー企画展事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
観覧者数	人	4,300.00 5,404.00	0.00 5,535.00	4,300.00 0.00
アンケートによる満足度	%	85.00 83.00	0.00 93.00	85.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	地元作家作品を主に展示しているため市が実施する必要があります		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
理由	アンケート結果から、観覧者ニーズを満たしているといえます。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
理由	目標人数を大きく上回る観覧者数を獲得できています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
理由	特別展を県と共同開催するなど、幅広い展示を行っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
理由	特別展は受益者負担を考慮し、有料展としています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	地元作家の展示や郷土の美術の紹介、安美展にちなんだ展示など、安城市に根付く美術を幅広く紹介する企画展示を行ってきました。観覧者数は目標人数を大きく上回っており、市民や近隣の人々にとって地元の美術を知る良い機会に繋がっています。今後は更に効果的に事業目的が達成できるよう、郷土の作家を中心とした美術作品を鑑賞する機会を創出するとともに、子どもや若者にもより広く親しんでいただけるよう、宣伝方法や解説にもより一層力を入れていきたいと思ひます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。